

不妊症患者に対する低反応レベルレーザー治療 (LLLT) についての考察 ～アンケート実施調査より～

小川久仁子¹、井田守¹、松本寛史¹、福田愛作¹、森本義晴²

(医療法人三慧会 IVF 大阪クリニック¹、医療法人三慧会 IVF なんばクリニック²)

【目的】

我々は代替医療を取り入れ先端技術と融合した統合医療を推進している。その一つとして低反応レベルレーザー治療 (LLLT) を導入している。今回アンケート調査結果から LLLT の効果や満足度について検討した。

【対象・方法】

2008年7月から2014年1月までの間に LLLT を受けた 514 名に対し、アンケート調査を実施した。(回収率 54.7%)

【結果】

LLLT 治療を受けた患者 514 名の内訳は 25～29 歳 (4 名)、30～34 歳 (48 名)、35～39 歳 (169 名)、40～44 歳 (225 名)、45～49 歳 (65 名)、50～55 歳 (3 名)、であり 40 歳以上は全体の 57.0%、45 歳以上は全体の 13.2%であった。

妊娠した患者の平均実施回数は年齢上昇につれ増加傾向となった。

「不妊治療上効果があったと思うか」の問いに対しては、“とてもあった” (21.0%) “少しあった” (36.7%) を併せると 57.7%の患者が何らかの効果を感じていた。

《卵胞数》《子宮内膜厚》《採卵数》《受精卵数》の増加や、《胚のグレード》改善については“変化なし”や“分からない”の回答も目立ったが、良くなったという回答では妊娠した患者の占める割合が多かった。

満足度については、“大変満足” (35.2%) “少し満足” (46.6%) を併せると 81.8%の患者が満足感を得ていることが分かった。

【考察】

不妊治療上における LLLT の効果を感じている患者は多かった。特に妊娠した患者の中には《卵胞数》《子宮内膜厚》《採卵数》《受精卵数》の増加や、《胚のグレード》が良くなったという回答が多く LLLT の継続可否の判断材料の一つになると考えられる。妊娠しなかった患者からも“不妊治療上 LLLT はとても効果があった” “LLLT を受けて大変満足”との回答があることから、“妊娠”に至らない場合であっても LLLT が効果的であったことが伺える。LLLT の効果と ART との因果関係はまだ明確にはなっていないが、その要因を明らかにしていくことで LLLT の可能性を今後広げることができればと考える。